

平成 28 年度町村議会表彰審査方針

我が国の地域経済は、政府の積極的な「成長戦略」の効果により、緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の停滞や平成 28 年熊本地震の影響により先行きに不透明感が高まっており、財政規模が脆弱な町村の舵取りは、依然として厳しい状況にある。

また、地方議会においては、地方自治法の改正や 6 次わたる地方分権改革一括法の整備に伴い、地方公共団体の責任領域や自己決定権が拡大したことから、これまで以上に政策立案機能や監視機能を十分に発揮することが求められている。一方で、投票率の低下や議員のなり手不足などの問題点も生じている。

このような状況の中で、先駆的な町村議会の中には、住民からの信頼を十分確保したうえで、住民の負託に応えるべく、議会の使命や改革の方向性を明示した議会基本条例の制定、住民の声を直接聴くための住民懇談会・議会報告会の開催、議員同士の自由討議、通年議会の実施といった議会の活性化方策によって、自己改革に積極的に取り組む議会が多く見受けられるようになった。

全国町村議会議長会では、全ての町村議会が、住民の信頼と期待に応え、議会本来の機能を十分に発揮し、地域の実情にあった議会活動を行えるよう、なお一層の自己研鑽と更なる議会の活性化を推奨する観点から、他の範となる先進的な事績を残している議会を表彰して称えることとし、平成 28 年度における表彰の審査方針を下記のとおり定めるものとする。

記

町村議会の活動を「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」、「住民に開かれた議会」、「地域振興のために特別な取り組みをした議会」の項目により、審査することとする。

- 1 「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」とは、次に掲げる事例のような活動を活発に展開し、実績を積み重ねている議会をいう。
 - ・ 条例制定権を積極的に行使している
 - ・ 条例により議決事件を追加し、あるいは修正権を活用するなど政策立案・チェック機能を発揮している
 - ・ 決算審査に関し、議会として一定の審査基準を策定したり、審査の過程で出された意見をその後の政策立案に活かしたりするなど監視機能の強化に努めている
 - ・ 意見書提出権を積極的に活用している
 - ・ 議員同士の自由な討議が行われている
 - ・ 通年議会など長期間の会期を設定するなど本会議や委員会が弾力的に開催できるようにしている
 - ・ 議事の内容を深めるため、公聴会や参考人制度を活用している

- ・ 外部の専門的知見を活用するなど積極的に調査・研究を行っている
 - ・ 専門分野に関する研修を積極的に行っている
 - ・ 議会事務局職員の専門性の向上を図るなど議会事務局の体制強化に努めている
- 2 「住民に開かれた議会」とは、次に掲げる事例のような活動を積極的に展開し、実績を積み重ねている議会をいう。
- ・ 議会が率先して住民懇談会、議会報告会を実施するなど住民と直接対話する機会を設け、住民の意見を議会審議に活かす努力をしている
 - ・ 休日や夜間に本会議、委員会を開くなど住民が議会に足を運べる機会を増やす努力をしている
 - ・ 子ども議会や女性議会など模擬議会を開催し、議会への関心を高める努力をしている
 - ・ 議会の日程や一般質問の内容等を事前に広報するなど住民の議会への関心を高める方策を講じている
 - ・ 議会のホームページを開設し、会議録や委員会記録、議案やその附属資料、議案に対する議員の賛否等を掲載するなど議会情報を積極的かつ分かりやすく住民に伝える工夫をしている
 - ・ インターネットやCATV等を利用して本会議や委員会を実況中継するなど住民に議会の状況が分かるようにしている
 - ・ 議会広報への編集等に議員自らが参画するなど責任ある広報を心がけ、内容についても住民に分かりやすく伝えるよう紙面の充実に努めている
 - ・ 議場の型を工夫するなど傍聴者に対し議事を聞きやすくするような配慮をしている
- 3 「地域振興のために特別な取組みをした議会」とは、例えば、特別な取組みにより地域の活性化に大きな役割を果たした議会、自然災害からの地域の再生あるいは被災地支援に大きく貢献した議会をいう。

平成 28 年 7 月 5 日

町村議会表彰審査会

委員長	松本 克夫 (ジャーナリスト)
委員	内貴 滋 (帝京大学教授)
委員	江藤 俊昭 (山梨学院大学大学院研究科長)